

持続可能な介護保険制度の実現 に向けた規制改革のご提案

～安心・安全・高品質な介護の実現を目指して～

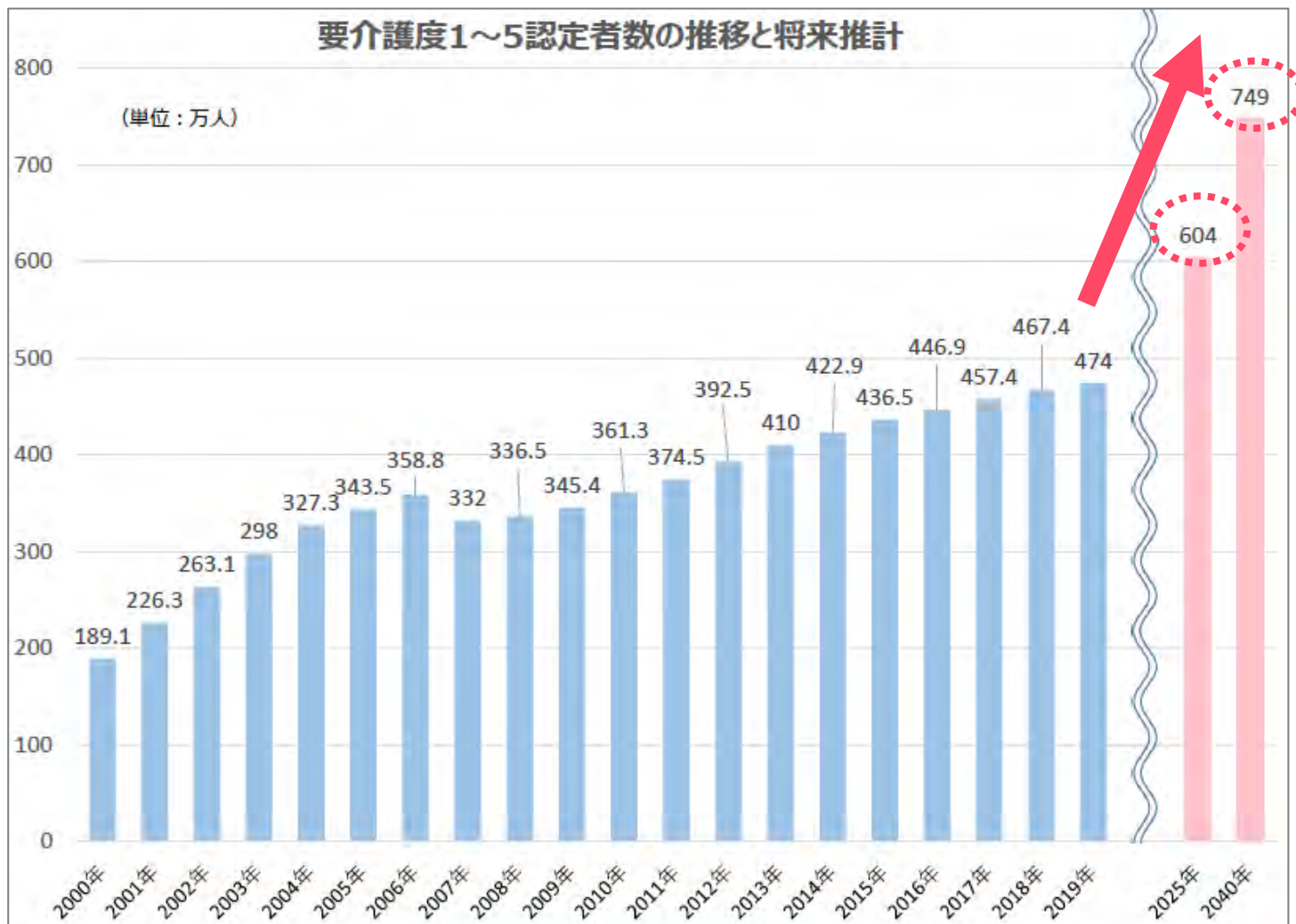
2021年12月20日

SOMPOケア株式会社

1. 制度の持続可能性を高める 規制改革の必要性について

【需要増加】要介護認定者数の増大

- ・要介護認定者数（要介護1～5）は年々増加し、制度発足時から約2.5倍。
- ・今後、2025年に604万人、2040年には749万人まで増大する見通し。



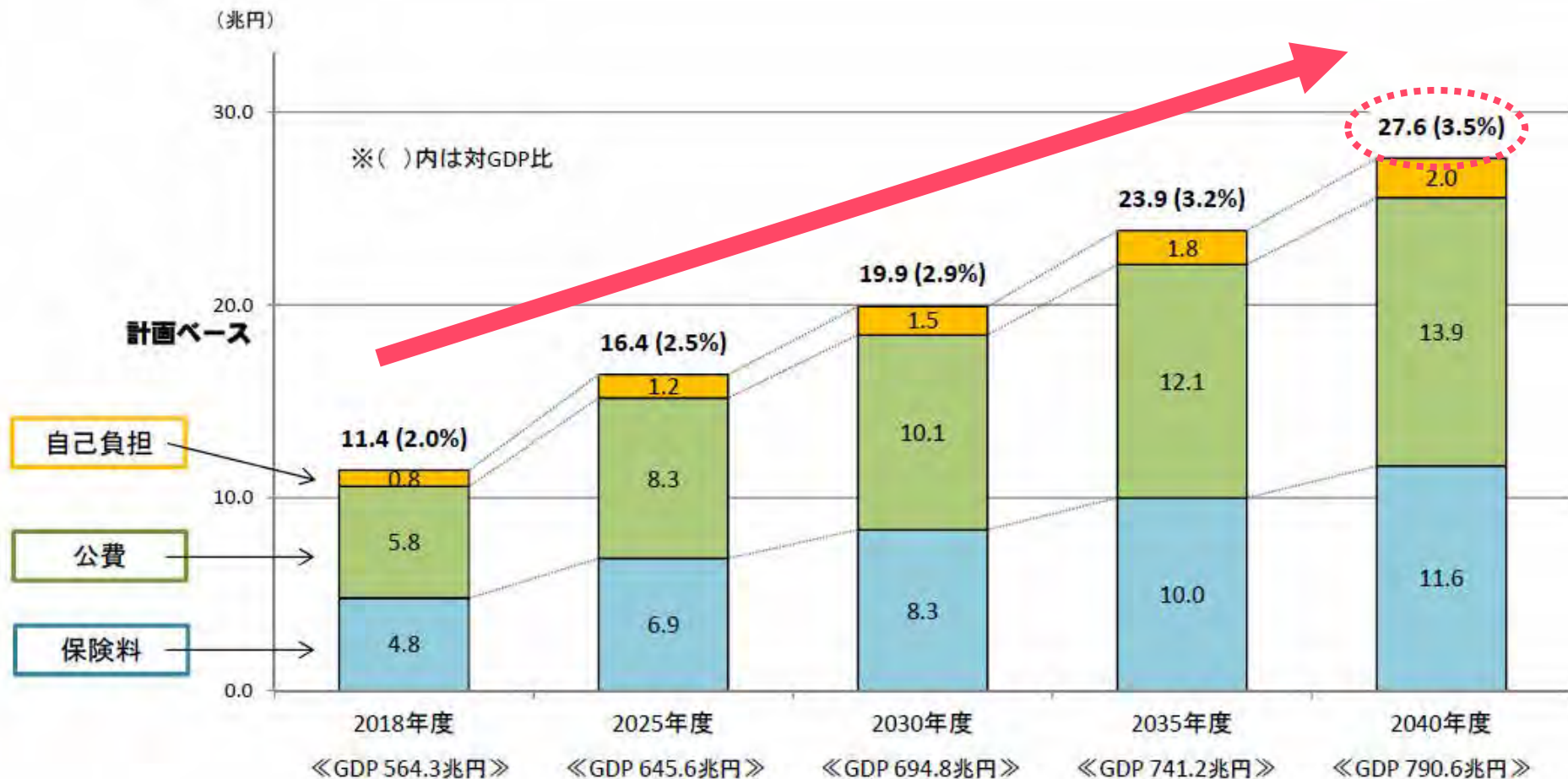
出典：2019年までの実績「第176回社会保障審議会介護給付費分科会2020.3.16」資料1、2025年以降推計「第55回社会保障審議会介護保険部会2016.2.17」資料1を基にSOMPOケア作成。2019年までの実績は各年4月末時点。

【需要増加】介護給付費の増大



SOMPOケア

- ・介護給付費は10兆円を超え、2040年に27兆円を超えると推計されている。



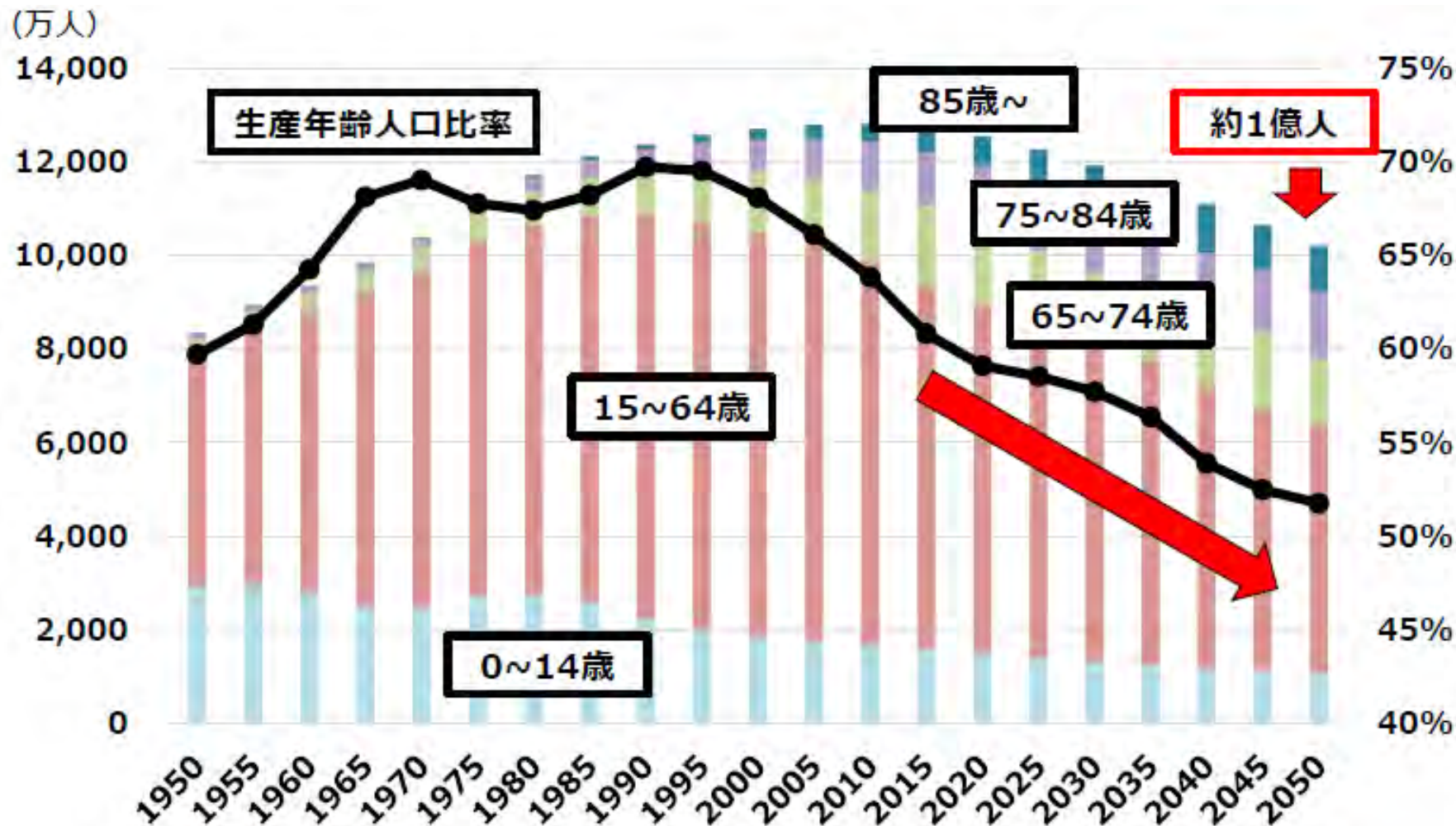
出典：厚生労働省ホームページ

【供給不足】生産年齢人口の減少



SOMPOケア

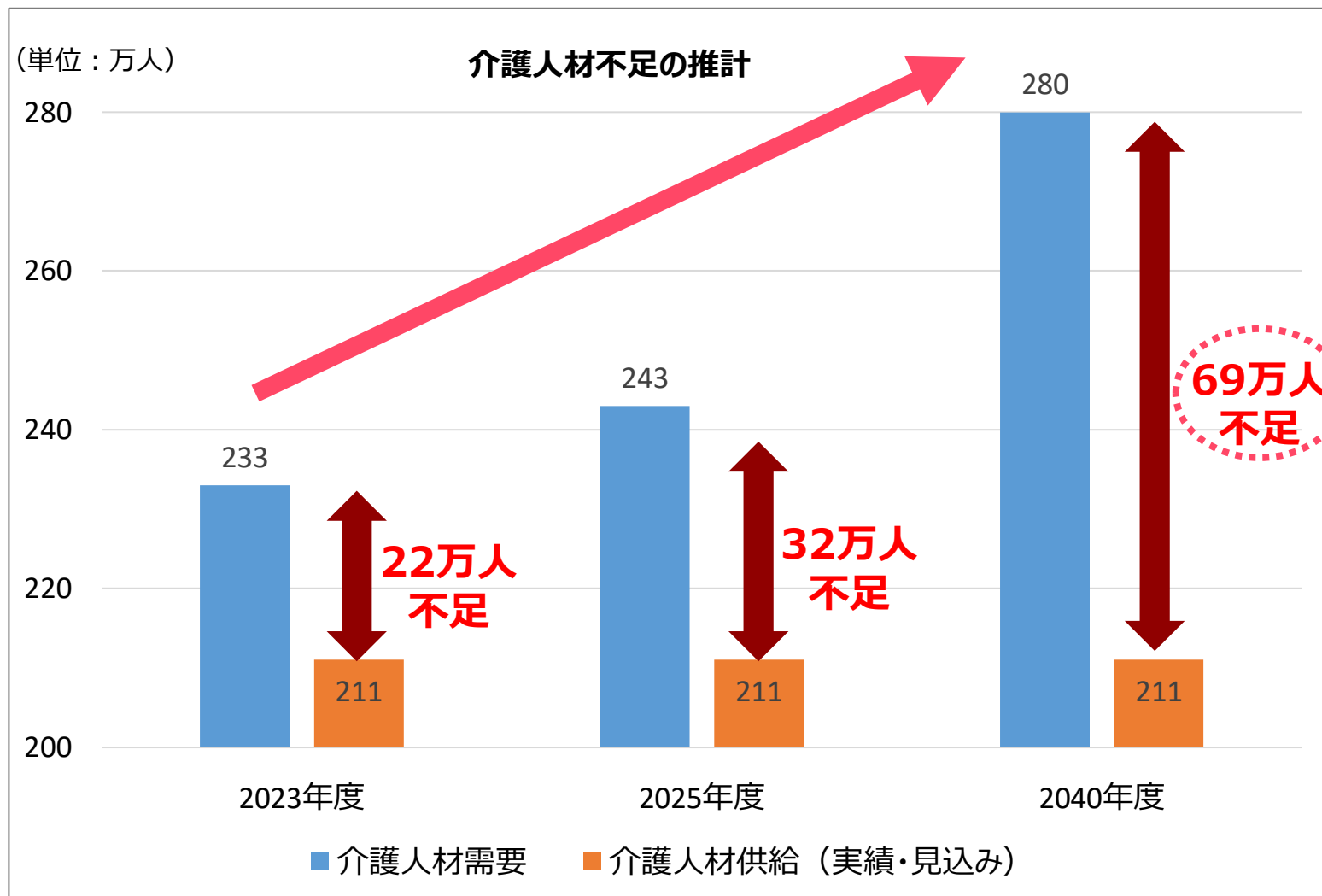
・少子高齢化の影響により、生産年齢人口は大きく減少することが確実。



出典：経済産業省「2050年までの経済社会の構造変化と政策課題について」2018年9月

【供給不足】介護人材不足の将来推計

・介護需要が高まる一方で、介護人材の不足は益々深刻になる見通し。



出典：2021年7月9日、厚生労働省公表「第8期介護保険事業計画に基づく介護職員の必要数について」

【現状課題】既に介護人材確保は困難

- ・介護業界は4K職種【危険・きつい・汚い・給料安い】のイメージが根強く、新型コロナの流行前から不人気であり、人材確保が極めて困難。

低処遇

平均給与

年収 **351.6万円** (月29.3万円)

全産業:年収422.4万円、月35.2万円
看護師:年収472.8万円、月39.4万円
保育士:年収362.4万円、月30.2万円

厳しい
職場環境

ハラスメント
経験率

70%以上 (特別養護老人ホーム)
60%以上 (介護付きホーム)

※利用者本人から受けたハラスメント経験率

不人気

就職人気
ランキング

マイナスイメージ調査

「仕事の魅力」「給与・待遇」「休日・休暇・労働時間」「福利厚生制度」「定着率」

5部門 **第1位** (40業種中)

人材難

有効求人倍率 **3.86倍** (全業種1.01倍)

1. 新型コロナウイルス感染症対策

- 介護職員はコロナ禍でも、エッセンシャルワーカーとして、高齢者の生活を守り、医療崩壊を防ぐ重要な役割を担っており、**感染リスクと闘いながら、高い使命感で、日々業務を遂行している。**

介護職は人との接触が避けられない感染リスクの高い専門職



2. 自然災害・BCP策定対応

- 近年増加している自然災害（地震、台風、集中豪雨等）により、**BCP策定や避難訓練見直し等の対応業務が増加している。**

◆具体的な対応例

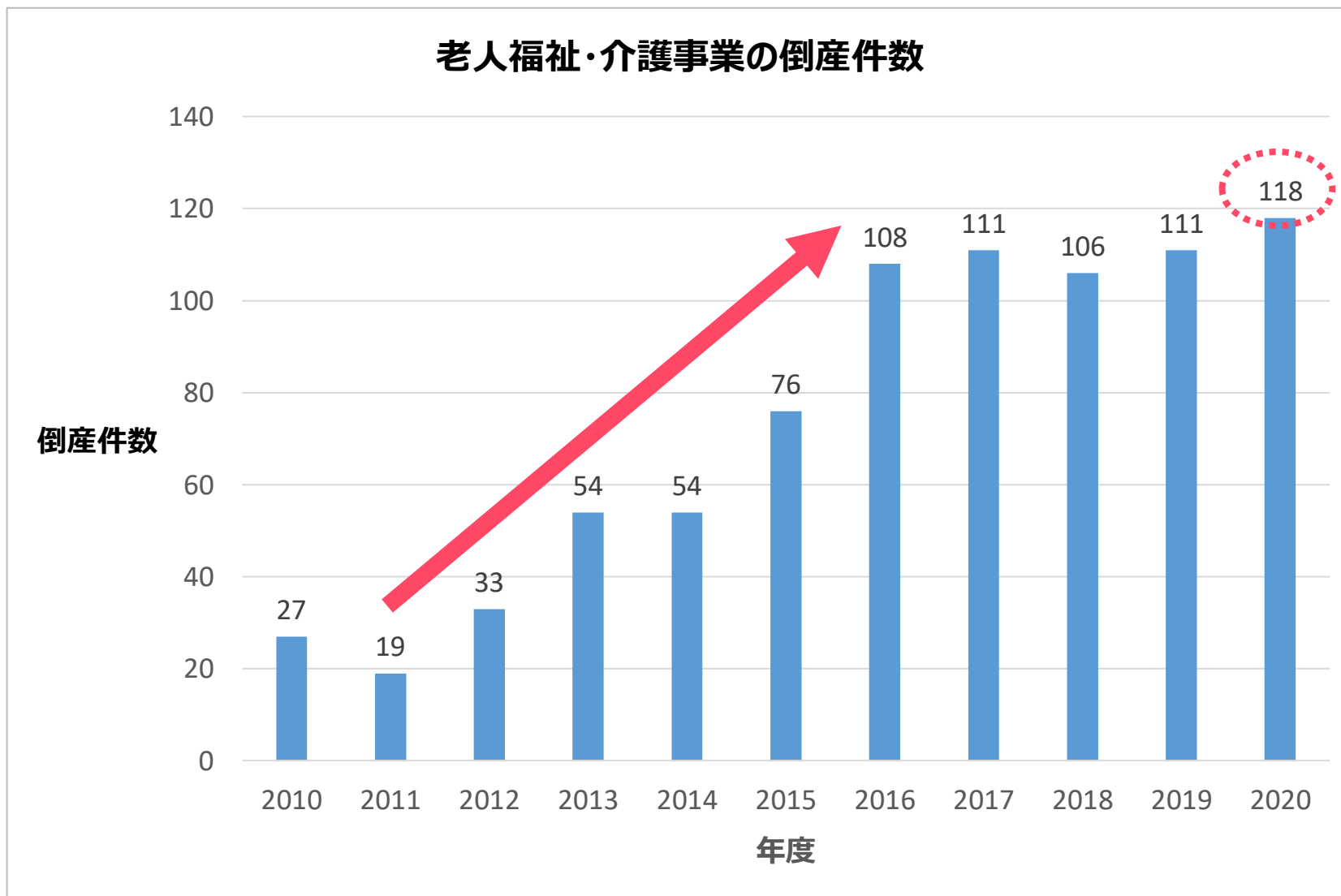
- (1) 事業継続計画（BCP）策定、見直し
- (2) ハザードマップ再確認
- (3) 備蓄品保管の見直し
- (4) 避難訓練の実施、見直し
- (5) 避難オペレーションに必要な備品購入



SOMPOケアの垂直避難訓練の様子

【現状課題】介護事業者の経営破綻

- ・コロナ禍の影響もあり、介護事業者の倒産は過去最大を更新。



【対策】介護人材確保の方策



SOMPOケア

- ・国には多様な対策を実施していただいている。これらのボトムアップ策をさらに進め、加えて、先進的な事業者の創意工夫を促す政策もお願いできないか。

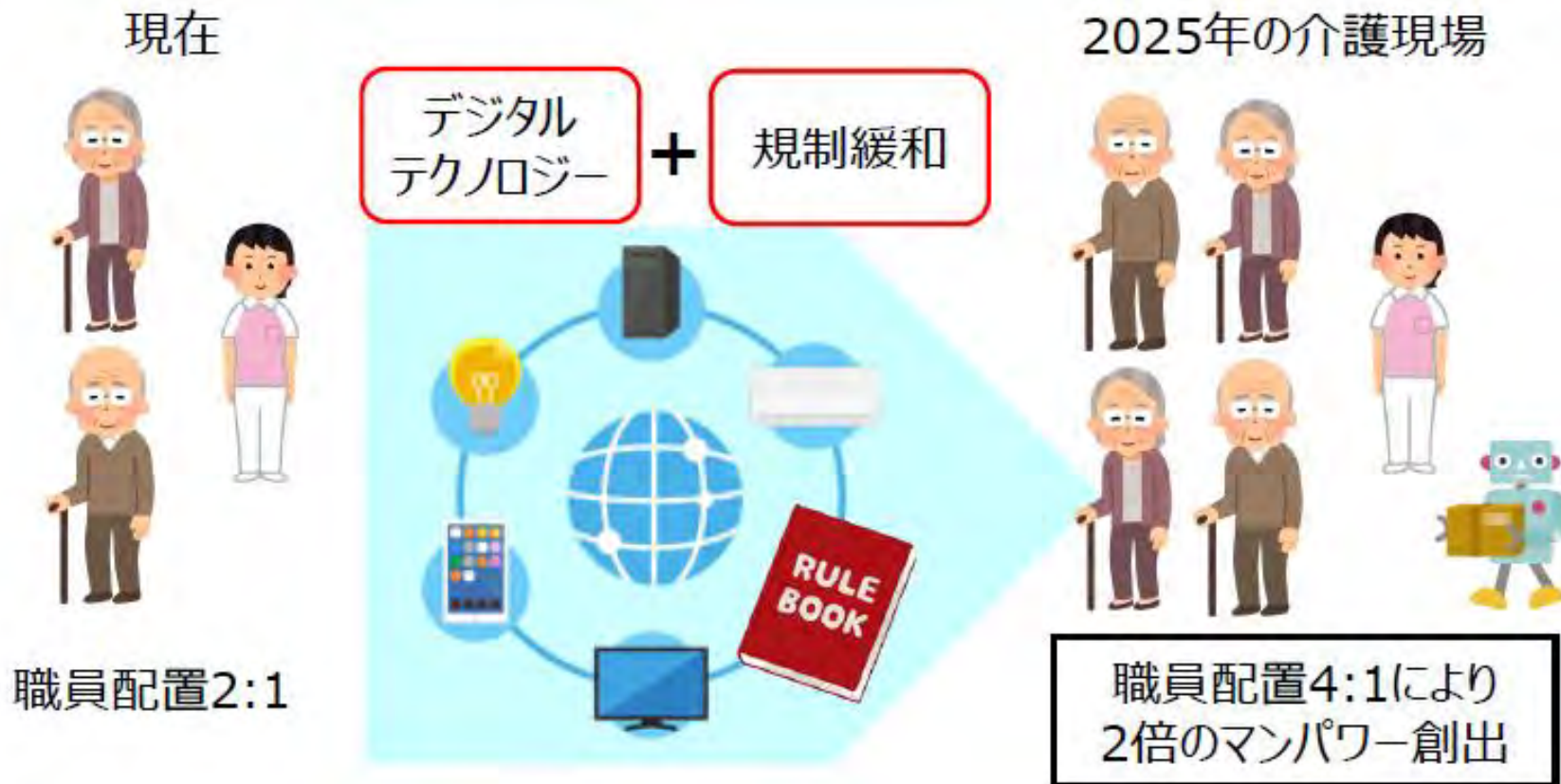
総合的な介護人材確保対策(主な取組)		
	これまでの主な対策	さらに講じる主な対策
介護職員の 処遇改善	(実績)月額平均5.7万円の改善 <ul style="list-style-type: none"> 月額平均1.4万円の改善(29年度~) 月額平均1.3万円の改善(27年度~) 月額平均0.6万円の改善(24年度~) 月額平均2.4万円の改善(21年度~) 	◎ リーダー級の介護職員について他産業と遜色ない賃金水準を目指し、経験・技能のある介護職員に重点化した更なる処遇改善を2019年10月より実施
多様な人材 の確保・育成	○ 介護福祉士修学資金貸付、再就職準備金貸付による支援 ○ 中高年齢者等の介護未経験者に対する入門的研修の実施から、研修受講後の体験支援、マッチングまでを一体的に支援	◎ 介護分野への元気高齢者等参入促進セミナーの実施 ◎ ボランティアポイントを活用した介護分野での就労的活動の推進
離職防止 定着促進 生産性向上	○ 介護ロボット・ICTの活用推進 ○ 介護施設・事業所内の保育施設の設置・運営の支援 ○ キャリアアップのための研修受講負担軽減や代替職員の確保支援	◎ リーダー的介護職員の育成とチームケアによる実践力の向上 ◎ 介護ロボット・ICT活用推進の加速化 ◎ 生産性向上ガイドラインの普及 ◎ 悩み相談窓口の設置、若手職員の交流推進
介護職 の魅力向上	○ 学生やその保護者、進路指導担当者等への介護の仕事の理解促進 ○ 介護を知るための体験型イベントの開催	◎ 若者層、子育てを終えた層、アクティブシニア層に対する介護職の魅力等の情報発信
外国人材の受 入れ環境整備	○ 介護福祉士を目指す留学生等の支援(介護福祉士修学資金の貸付推進、日常生活面での相談支援等)	◎ 「特定技能」等外国人介護人材の受入環境整備(現地説明会等による日本の介護のPR、介護技能向上のための集合研修、介護の日本語学習支援、介護業務等の相談支援・巡回訪問の実施等)

【対策】実現すべき未来の介護現場



SOMPOケア

- ・介護人材不足の解消には、飛躍的な生産性向上にチャレンジする必要がある。
- ・例えば、施設の人員配置を現状の半分にすると、約30万人※のマンパワーが創出される。



※介護保険施設を除く、施設系サービス（特定施設入居者生活介護【介護付きホーム】、認知症対応型共同生活介護）に従事する介護職員数は約31.7万人。（出典：厚生労働省2019年介護サービス施設・事業所調査の概況）

【対策】処遇改善と生産性向上の好循環

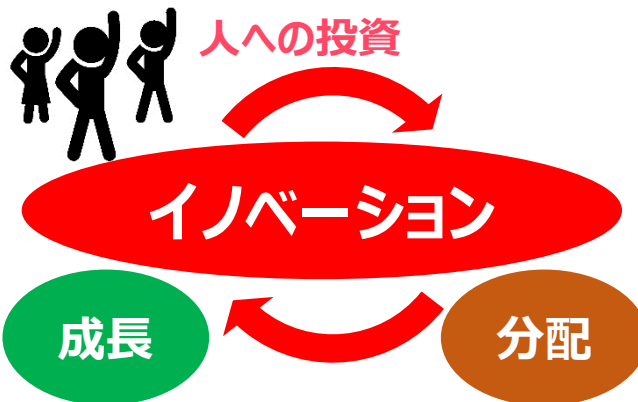
- ・介護分野の社会課題を解決するには、「**人への投資**」により、**現場のイノベーションを巻き起こす**ことが必要。
- ・国の財源には限りがあることから、事業者の**生産性向上によるファンド創出**により、**成長と分配の好循環**を目指すべきではないか。

介護分野の社会課題

1. 超高齢社会 2. 生産年齢人口減少 3. 社会保障費増大 4. 介護人材不足

介護事業者の期待役割

- ・生産性向上
- ・サービス品質向上
- ・デジタルテクノロジー活用
- ・スケーラビリティの追及



国・自治体の期待役割

- ・適正な賃金水準の確保
- ・税制支援、補助金拡充
- ・規制緩和
- ・紙削減、ローカルルール解消

国民メリット・目指す姿

1. 高齢者本人 サービス品質向上・選択肢拡大
2. 家族介護者 介護離職ゼロ社会の実現
3. 介護職員 働き方改革の実現



マクロ経済効果

- ・ヘルスケア産業の海外展開
- ・地方経済の活性化
- ・国民所得増による消費拡大

2. 新しい介護パッケージモデル

未来の介護創造プロジェクト



SOMPOケア

- ・サービス品質向上と介護職員の負担軽減の両立を目指すプロジェクト。
- ・「施設マネジメント・ケアマネジメント・介護サービス」の三位一体の改革を推進中。
- ・プロセスの見える化・分析により、個別性のある最適なケアを実践していく。

① サービス提供

・施設運営の品質向上

■ テクノロジー&データ活用の職員教育

- ・実装するテクノロジーを十分に利活用するためのITリテラシー向上
- ・データの理解、活用、定着の促進



② ケアマネジメントの品質向上

■ カスタムメイドケア※の定着

- ・ケアマネジメントの強化
- ・ケアマネジャーの強化

■ AIなどテクノロジーとデータを活用したケア品質向上と業務効率化

※心身の状態や価値観などを考慮し、「人間尊重」を通じて、お一人おひとりに合わせた「最適なケア」を提供する自立支援の取り組み

③ データを活用した科学的介護

- テクノロジーとデータを活用した、過去の知識や経験だけに頼らない、エビデンスに基づいた効率的かつ効果的な科学的介護を実践



【手段Ⅰ】デジタルテクノロジー



SOMPOケア

- ・未来の介護創造プロジェクトにおいて、導入したテクノロジーの事例は以下の通り。
- ・**品質向上と介護職員の負担軽減の両立**が図れるテクノロジーを活用している。

①睡眠センサー



遠隔見守り&バイタルデータ取得

②自動体位交換器



体位交換で床ずれ予防

③介護用シャワー



特殊浴対応装置

④ウルトラファインバブル発生装置



身体洗浄機能

⑤離床アシストロボット



ベッドから車いすへの移乗を支援

⑥家族型ロボット



コミュニケーションロボット

⑦再加熱カート



設定した時間に食事の温度調整

⑧とろみサーバー



飲料を自動でとろみ付け

デジタルテクノロジーがもたらす品質向上

- ・睡眠センサーによる遠隔見守りは、巡視による安眠の妨げがなく、品質が向上。
- ・夜間だけでなく、24時間常時の安心・安全な介護が実現できる。

■ 睡眠センサーのパソコン画面表示例



■ パソコン画面

- 青色：眠っている状態
- 黄色：眠っていない状態
- 灰色：ベッドから離れた状態



■ これまでは夜間巡視により、起こしてしまう事例あり



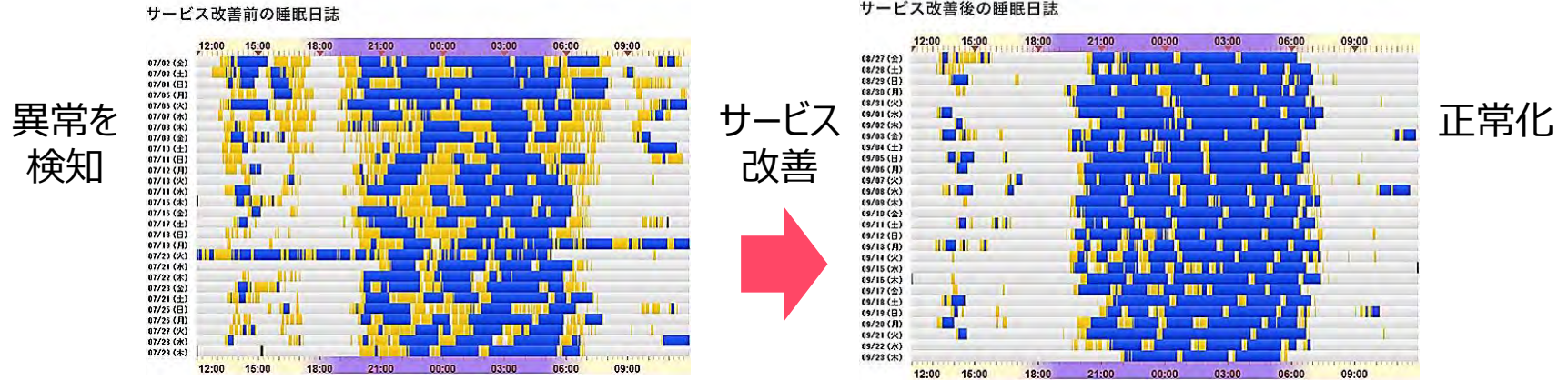
■ 遠隔見守りにより睡眠の質が向上



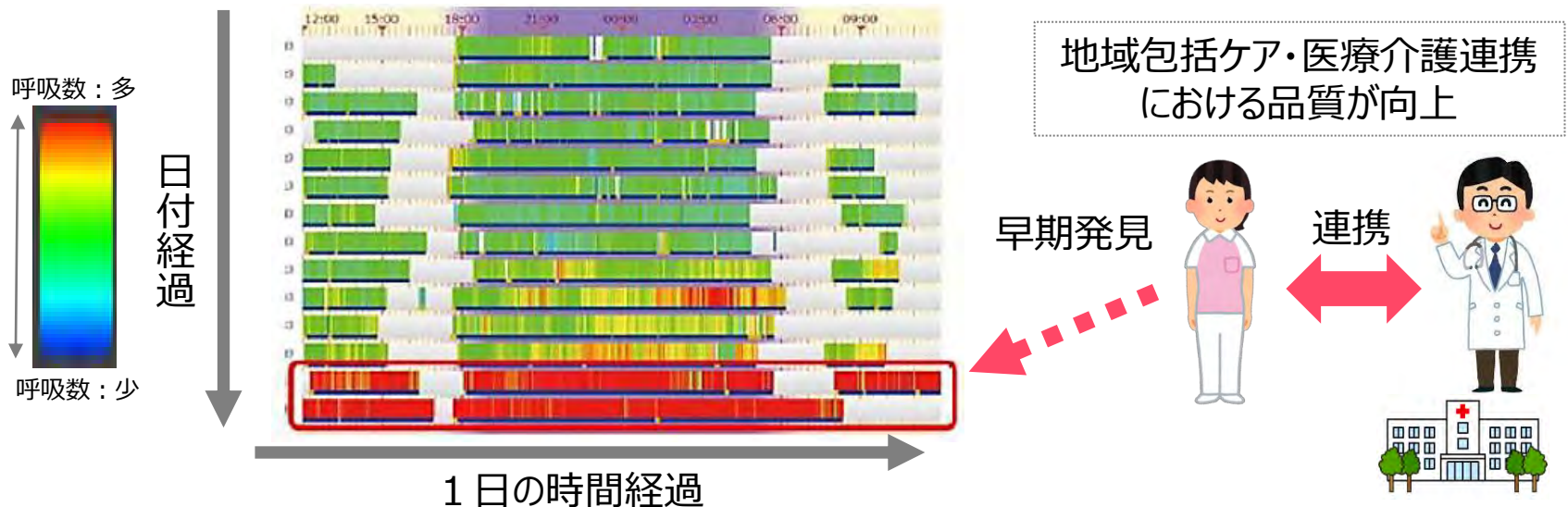
スマホでも確認可能

デジタルテクノロジーがもたらす品質向上

- ・十分に眠れていない状態（黄色）が見える化。適切な計画見直しが可能となる。



- ・呼吸数が見える化。体調不良の早期発見により、適切な対応が可能となる。



【手段Ⅱ】介護補助者・外部委託

- ・介護の専門職でなくてもできる業務について、介護補助者に任せることによって、時間の創出と品質向上を実現することができる。
- ・また、外部業者への業務委託も、時間を創出する手段の1つとなる。

1. 介護補助者（アクティブシニア）活用

- ・食事配膳等の間接業務を介護補助者にシフト
- ・会話時間の増加等も期待される



出典：東京新聞WEB2021.6.23

※SOMPOケアラヴィーレ子玉川における
損保ジャパン元役員によるパート職員採用事例

2. 洗濯業務の外部業者委託

- ・プロの業者に任せて、時間を創出
- ・専用機器を活用した洗浄力強化（品質向上）



◎業務委託の料金負担例

- ・通常洗濯物（衣類）の外部委託料は月間約4,000円程度（週3回収）
- ・大物類（タオルケット、毛布類）は別途外部委託料1枚500円程度

⇒利用者負担を大きく変えず、時間創出が可能

【手段Ⅲ】リアルデータ

- ご利用者の日々の介入・活動等を記録し、定量的に見える化するしくみを構築。
- リアルデータから、類似ケースを参考に将来を予測し、最適な介入を提案。
- より効果的な「予測する介護」、「考える介護」の実践を推進している。

状態把握 ↓ 予測 ↓ 最適な介入提案

